

呉市でグルメ交流

2008くれ食の祭典

大山町と交流がある広島県呉市で11月9日、「くれ食の祭典」が開かれました。この祭典に大山町から大山町そば打ち同好会、神田りんご生産組合ほか役場職員からなる訪問団総勢12人が参加して、手打ちそばや、りんごを中心に町の特産物を販売し、大山町を広く紹介しました。テントを訪れる人の中には、「私は米子の出身で懐かしいです」とか、「毎年ここのリングゴは必ず買うの」という人もいました。この祭典の人は15万人。味覚の秋を満喫できる行事として毎年賑わっています。



●大山町と呉市との交流経緯 神田の歴史共有を縁に

両市町の関係は、昭和6年、ロンドン軍縮条約により呉海軍工廠において多くの工員が人員整理の対象となり、そのなかの約30家族が名和町（当時の名和村）へ集団移住をし、苦しい開墾事業に取り組んだことに始まります。昭和63年に『呉市史』第6巻に名和開墾の事業が紹介され、呉市と名和町の市民、町民レベルの交流が進んできました。平成5年には佐々木前呉市長が当時の林原名和町長を表敬訪問し、神田地区住民と懇談会をもたれました。佐々木前市長は懇談会で「父が市長を務めた時の移住で、無理を言って入植してもらったと何回も聞いており、ずっと心にひっかかっていた。長年の思いが果たせてうれしいです。これを機に継続して交流をさせてもらいたい」と語り、交流の約束ができました。

そして平成7（1995）年7月に友好都市の提携を宣言しました。以後、情報の交換、相互の催しなどへの参加、物産の販売の促進など、交流が続いています。

叙勲・褒章受章 おめでとうございます



らんじゅほうしょう
藍綬褒章

まえだ よしき
前田 義機さん (65) 栄
更生保護功績 現 保護司

昭和58年から25年間、保護司として更生保護事業に寄与したことが認められ、受章されました。前田さんは「受章は家族の協力、先輩、保護司会の仲間のおかげです。今では保護司は私のライフワークだと思っています。人の絆を取り戻し、地域ぐるみの支え合いができるよう今後も頑張っていきたいです」と受賞の喜びと抱負を話していただきました。



らんじゅほうしょう
藍綬褒章

いけぞえ のりあき
池添 文昭さん (59) 大山口
消防功績 現 大山町消防団大山第1分団

昭和45年から38年間、消防団員として地域住民の安全、安心のために活躍された功績が認められ、受章されました。池添さんは「身に余る光栄です。消防団は地域防災の要であり、これからも団員とともに後進を育てつつ消防活動にまい進したいと思います」と受賞の喜びと抱負を話していただきました。



きよくじつそうこうしょう
旭日双光章

きのした ともたか
木下 智隆さん (73) 上坪西
地方教育行政功労
元 名和町教育委員会委員長

昭和47年から33年間、教育委員として、また平成5年からは教育委員長として地方教育行政の発展に貢献されたことが認められ、受章されました。木下さんは「受章は皆さんのおかげで、ありがたく感謝しています。今後は一農業者として地域の人と共に過ごしていきたいです」と受賞の喜びと抱負を話していただきました。